

# 2008年度 福岡ブロック会員大会 次は飯塚!!

2007年6月17日、(社)田川青年会議所主管で第35回福岡ブロック会員大会が、盛大に挙行されました。翌2008年度は、当地(社)飯塚青年会議所が主管致します。福岡の会員やご家族の皆様、さらに地域の皆様に対して、公益性を重視したすばらしい大会にしたいと、メンバー一同、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



社団法人 飯塚青年会議所

## 会員募集

青年会議所(JC)は“明るく豊かな社会”の実現を理想とし、時代の担い手たる責任感を持った20歳から40歳までの、指導者たらんとする青年の団体です。私たちは現在、国内750余りの都市に6万人余りの会員を、全世界114カ国地域に22万人余りの会員を擁しています。青年会議所の事業目的は“社会と人間の開発”です。私たちは市民社会の一員として、市民の共感を求めて社会開発計画に基づいた活動を行い、「自由」を基調とした民主的な指導能力の開発を推し進めています。

**青年会議所は20歳から40歳までの情熱ある青年の団体です。**

**(社)飯塚青年会議所は、あなたの力を求めています！**

私は、青年会議所について聞かれた時「青年会議所はまちづくりとひとづくりを行う団体です」と答えています。青年会議所はこのように考えています。家庭・学校・企業等、これらは全て「ひと」によって成長して行きます。そして、私達の生活している「まち」も「ひと」によって構成されています。青年会議所は40才までの団体であり、そのわずかな時間の中で「まちづくり」を行うことは大変難しいことです。しかし、いろんな事を経験し、体験することで「私」という「ひとづくり」を行い、「豊かな考え」のできる「ひと」に成長すれば、それが「豊かなまちづくり」につながるのです。青年会議所の活動は「もの」をつくる町づくりではなく、「ひと」をつくる町づくりです。青年会議所とは40才までにやり遂げる団体ではなく、入口なのです。

●対象者● 飯塚市、嘉麻市、桂川町に住所または勤務先を有する20才から37才までの健全な方であれば男女を問いません。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。



VOICE発行にあたり、忙しい中取材に協力していただいたメンバーの皆様方、本当にありがとうございました。当初予定していた発行より大幅に遅れましたことを、この場をかりて深くお詫び申し上げます。次回のVOICEは本年度の活動報告、理事長所信、各委員会及びメンバー紹介を織り混ぜた内容で提供し、今後のJC活動をサポートできたらと思います。

ブロック会員大会 誘致特別室長 田中堅治

ブロック会員大会誘致特別室 ■ 室長/田中堅治 ■ 副室長/江藤晃輔 ■ 委員/有田栄公・湊谷一弥・山室 透

(社)飯塚青年会議所 〒820-0017 福岡県飯塚市菰田西3丁目18-11 TEL 0948-23-0292 FAX 0948-24-3471  
E-mail info@iizuka-jc.com URL http://www.iizuka-jc.com/

# VOICE



### INDEX

井手らつきよ氏・内藤修也理事長対談  
平成19年9月23日(日) 北九州大谷球場にて

(社)飯塚青年会議所 ■ URL <http://www.iizuka-jc.com/>

2007  
October

IIZUKA  
Junior Chamber NEWS vol.51

社団法人 飯塚青年会議所

内藤理事長 (以下内藤) 本日は試合前のお忙しい中、お話をさせていただきありがとうございます。早速ですが井手さんは我々(社)飯塚青年会議所という団体をご存知でしょうか？

井手らつきよ氏 (以下井手) ええ。大体分かります。大体ですけど。飯塚市で活動されているのですよね。

内藤 そうです。飯塚市、嘉麻市、桂川町で20歳から40歳までの会社経営者やそれに準じたリーダーを対象に集まった団体で、活動目的はまちづくり、ひとづくりをメインに行っております。今回、井手さんと対談させていただきたいと思った理由としましては、嘉麻市バーニングヒーローズという野球チームに携われて、地元で頑張っていたという点でお願いいたしました。

井手 そうです。嘉麻市バーニングヒーローズ、略して「嘉麻バー！」(笑い)

内藤 <sup>カマ</sup>嘉麻バー？(笑い)ありがとうございます。実は井手さんに関しましては熊本のご出身で、1959年生まれというくらいしか知らないのですが、どういった経緯で嘉麻バーに携わっていらっしゃるのですか？

井手 はい。大学は久留米大学です。中退しちゃったんですけど、野球が好きで高校までずっとやっていたですね。大学4年の時に東京に出て、芸能活動を始めたのですが、たけしさんも野球好きで、ある日「たけしのスポーツ大将」という番組の中で、日本ハムファイターズのプロテストを受けようという企画がありまして、当時視聴者100人ぐらいで受けたのですが、僕だけ合格しちゃってね。日ハムに。

内藤 えっ！そうですか。すごいですね。当時監督はどなただったのですか？

井手 近藤さんですね。ただ、芸能活動やっていたので名誉だけいただいて、たけし軍団で頑張ります。ありがとうございました。という感じでした。

内藤 当時、井手さんおいくつだったのですか？

井手 27歳ぐらいだったと思います。



(社)飯塚青年会議所 第54代理事長

嘉麻市バーニングヒーローズ 選手会長

# 内藤修也氏 井手らつきよ氏



## 対談



内藤 27歳というのはプロ野球選手としてはどうでしょうか？

井手 普通にテストを受けるとしては遅いですよ。でも合格っていうのはほんとに嬉しかったです。名誉だけではありますけど。

内藤 ええ。その結果というか、プロテスト合格の称号、ライセンスというのはいまわりますからね。

井手 それからこの歳まで、もう48歳ですけども、草野球とかやってたんですよ。で、あるとき野球のイベントで韓国のタレントさんチームと硬式で大阪ドーム、東京ドームと二ヶ所で試合を行うということで、芸能人何人が集まったんですよ。その時に現在の嘉麻市バーニングヒーローズの市場監督と知り合いました。井手さんも是非にと誘われて、硬式で野球をするのは久しぶりでもう無理だろうし、コーチか何かかな？いいですよ、と簡単に答えていたのですけれども、「選手会長お願いします。」ということでした。「うわー、俺もやらなきゃいけないな」と体を動かし始めました。やっぱり硬式の方が全然おもしろいですね。山本譲二さんチームや欽ちゃんチームとも練習試合しましたけどもやっぱり面白いですね。お客さんも喜んでくれましたし。そしてイベントだけではなくて今日みたいな大会のような真剣勝負、東京の都市対抗決勝も観に行きましたけどプロ野球より面白いですよ。

内藤 そうですか。

井手 そういった中で野球をやりながら、嘉麻市だけ

ではなく、飯塚市の方にもご協力していただき、市にもお願いし、私たちのチームを応援していただきながら、まちの活性化というか、まちづくり活動をしていきたいですね。例えば、欽ちゃんチームや山本譲二さんチームを呼んだりとか、野球をやりながら、タレントさんを見て欲しいなと思います。なかなかそういう機会がないじゃないですか。

内藤 そうですね。欽ちゃん見る機会とか全くないですからね。あちこち行かれていたと思いますが、嘉麻バーに携わっておられて嘉麻や飯塚の人柄というのはどう感じられていますか？

井手 人懐っこいんですね。選手たちもそうですけど。イメージ的には筑豊っていうので、言い方悪いですけどガラが悪いと思っていましたが(笑い)、全然そんなこと無いんですね。

内藤 (笑い)ありがとうございます。昨年、合併したばかりですが、率直に嘉麻市、飯塚市のまちの元気とか勢いはどのように感じられますか？

井手 正直言います、嘉麻市はまだまだ小っちゃいので、これからでしょうけれども、嘉麻市、飯塚市とあまり分けるのではなく、その地区その地区で一緒に力合わせて頑張っていければいいなと思います。

内藤 今、飯塚市では観光都市を目指す方向でもいろいろ頑張っております。旧産炭地で昔は勢いがありましたけれども、今これといった特色がないのが実情です。私どもとしても、嘉麻バーの井手さんを前面に押し出して行きたい願望はあるのですが、今後いろいろなことをお願いしても大丈夫でしょうか？例えば、講演ですとか、

野球教室とか？

井手 はい。私に出来る範囲であれば必ず。この前、養護施設穂波学園にソフトボール大会に伺いました。皆で楽しかったですね。上手かったですよ。障害者の方ですけれども日本代表ですかね、日の丸付けていました。目をキラキラ輝かせながらスポーツやっている姿というのは本当に素晴らしいですね！そういう方たちとソフトボールできた嬉しさもありますし、向こうもすごく喜んでいただきました。そういう地域の方とのふれあいとか大事にしていきたいと思います。だから、お祭りとかあったら呼んでいただけたらと思います。嘉麻市の八反田川のほりレースで船に乗りましたよ。ケーブルテレビにも紹介されましたよね。

内藤 えっ、そうなんですか。旧碓井町の川のほりレースのことですね。もう地元で溶け込まれていますね。嘉麻市に愛着が出てきているのではないのでしょうか？

井手 そうですね。この間、嘉麻市長と対談しました。嘉麻市は姉妹都市の提携の話をして、この際、熊本の玉名市とどうですかとお願いしました。カマシでしょ、タマナシとね。(笑い)市長もゲラゲラ笑っていましたよ。

内藤 (笑い) 熊本の玉名市ご出身ではないですよね。

井手 はい。熊本市出身です。うちのチームの選手は飯塚出身が多いですよ。

内藤 あっ、そうなんですか。ちなみに飯塚でおいしいお食事処どこか見つけられましたか？

井手 いや、一回も行ったこと無いんです。飯塚で居酒屋やってるメンバーいますので顔出ししたりしましたけど。

内藤 折角ですから、おいしいご飯屋さんご紹介してもっともっと情報交換しながら仲良くさせていただきたいと思います。宜しく願い致します。今後のご活動予定お聞きしたいのですが。

井手 来月大会があります。来年また欽ちゃんチームと宮崎の日向で試合を行います。その時は東国原も来るんじゃないでしょうか。今、日本一有名ですから。

内藤 東国原知事と言えば、元同僚と申しましょうか、同じたけし軍団でしたよね。あの方も地方で頑張っておられますからね。最近でも連絡はとられるのでしょうか？

井手 そうですね。よくメールとかも来ますよ。電話もですけど。

内藤 やはり、昔からの仲でしょうから外には漏らせたくないやりとりがいろいろあるんじゃないでしょうか？(笑い)

井手 (笑い) 結構ありますよね。「たまっているんだなあ、この人も…」ってね。ストレスもかなりたまっているみたいですね。(笑い) まだ決定ではないですけど、来年3月、飯塚の地で欽ちゃんチームと試合を組みたいと思います。予算の問題もあります。

内藤 そうですか。ありがとうございます。その際は盛大に宣伝させていただいてお客さんもいっぱい集めて行きたいなと思います。今日は私達の広報誌VOICEの対談をお願いいたしました。最後に本日は表紙を飾る写真撮影をお願いして終わりにしたいと思います。大会試合前のお忙しい中ありがとうございました。

井手 ありがとうございました。

